

世界農業遺産「能登の里山里海」 企業と連携した取組について

令和7年1月7日
石川県里山振興室×アサヒビール株式会社北陸支社

能登の里山里海について（関係4市5町）

▶ 里山

人が住み、生活する中で、
適度に人の手が入ることに
より形成され守られてきた地域



能登の里山



▶ 里海

人が豊かな海の恵みを
利用しながら生活や生産
活動を行ってきた沿岸域



能登の里海



「能登の里山里海」は、農林水産業を中心に自然と調和した人々の暮らしが営まれている地域

世界農業遺産「能登の里山里海」の主な構成資産

伝統的な農林漁法

はざ干し



海女漁

棚田



間垣



優れた里山景観

白壁黒瓦の家並み



のとキリシマツツジ



農林漁業と深く結びついた祭礼

キロ祭り



あえのこと

あばれ祭り



能登のアメメハギ

伝統的な技術

輪島塗



炭焼き

揚げ浜式製塩法



能登上布



世界農業遺産「能登の里山里海」の保全・活用

**能登地域GIAHS推進協議会
(2010.11設立)**
(GIAHS申請主体)

「能登の里山里海」の保全・継承

(構成メンバー)
能登4市5町

(主な事業内容)
●世界農業遺産保全計画の策定
●生物多様性ワーキンググループの運営

連携

**世界農業遺産活用実行委員会
(2011.6設立)**

世界農業遺産を活用した
能登地域の活性化

(構成メンバー)
県、能登4市5町、JA、商工会等

(主な事業内容)
●他の認定地域と連携し、PR実施
●次世代継承の取組 等

助言・支援 連携

アドバイザー
国連大学(OUIK)、金沢大学、
北陸農政局、石川県

助言 連携

オブザーバー
国連大学(OUIK)、北陸農政局

様々な地域振興の取組が進展

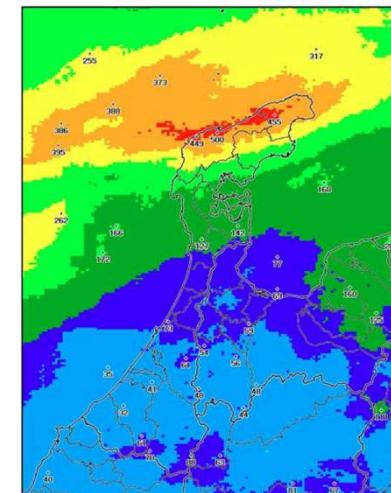
能登半島地震・奥能登豪雨の概要

能登半島地震

- (1) 発生日時
令和6年1月1日16時10分頃
 - (2) 震源地
石川県能登地方（震源の深さ 約16km）
 - (3) 地震の規模
マグニチュード7.6（最大）
 - (4) 県内の震度
 - ・震度7：志賀町、輪島市
 - ・震度6強：七尾市、珠洲市、穴水町、能登町
 - ・震度6弱：中能登町
 - ・震度5強：金沢市、小松市、加賀市、羽咋市、かほく市、能美市、宝達志水町
 - ・震度5弱：白山市、津幡町、内灘町
 - ・震度4：野々市市、川北町
- ※津波：能登町や珠洲市で4m以上の津波の浸水高を観測

奥能登豪雨

- (1) 発生日時
令和6年9月21日から23日かけて
- (2) 降雨量（輪島観測所：気象庁）
 - 120.5mm（最大60分雨量）
 - 476.5mm（累計雨量）
- (3) 降雨の状況
 - ・北陸地方に停滞する前線や低気圧の影響により、断続的に激しい降雨
 - ・輪島市、珠洲市、能登町では「大雨特別警報」が発表され、輪島市では観測史上最大となる雨量を記録



【出典】金沢地方気象台「令和6年9月21日から23日の大雨に関する石川県気象速報」
https://www.data.jma.go.jp/kanazawa/shosai/tmp/20240921_sokuhou.pdf

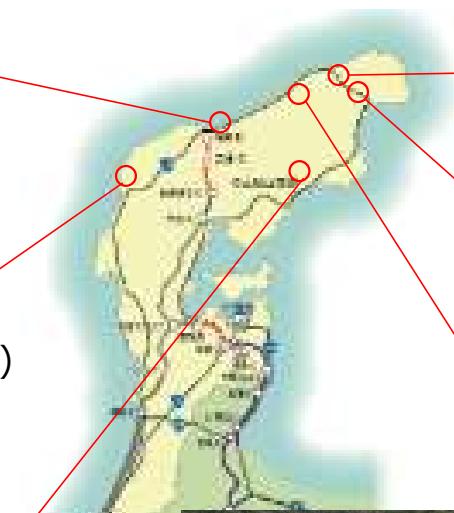
農業水産業関係の被害状況

【地震】農地の亀裂や法面崩壊、農業機械・施設損壊、畜舎損壊など13,326件の被害

【豪雨】農地の土砂・流木堆積、農業機械・施設損壊など3,501件の被害を確認



【地震】白米千枚田の亀裂・法面崩壊 (輪島市)



【豪雨】流木の堆積 (珠洲市)



**【地震】地盤隆起
(鹿磯漁港 (輪島市))**



【地震】畜舎倒壊 (能登町)



【豪雨】水路埋塞 (輪島市)



【地震】山腹崩壊 (珠洲市)

農林水産関係の被害額

- 被害額は令和6年12月末時点で**2,942億円(地震)、531億円(豪雨)**
平成19年能登半島地震(58億円)を上回り、石川県の記録上、過去最大

(令和6年12月末時点)

	能登半島地震		奥能登豪雨	
	件数	被害額	件数	被害額
農業	13,326 件	1,159 億円	3,501 件	335 億円
森林	2,646 件	776 億円	582 件	196 億円
水産	453 件	1,007 億円	6 件	0.07 億円
計	16,425 件	2,942 億円	4,089 件	531 億円

営農の再開状況について

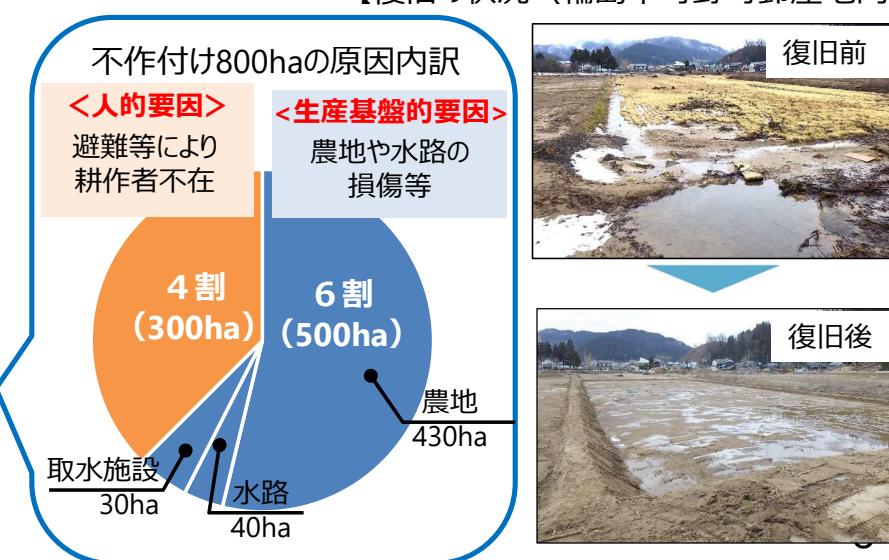
水稻等の作付見込み

- 二重被災により営農再開への大きな影響が懸念された中、国、県、市町、JAの連携のもと、営農再開に向けた支援と、農家の協力により農地や水路等の復旧を精力的に実施
- 現時点における令和7年の水稻作付面積は、令和6年と同等の1,900ha
営農再開面積は、令和6年とほぼ同等の2,000haの見込み
- 不作付け800haの要因は、約6割・500haが生産基盤、約4割・300haが人的問題に起因

【水稻作付面積】



【復旧の状況（輪島市町野町鈴屋地内）】



世界農業遺産「能登の里山里海」を活用した企業との連携

アサヒビール株式会社北陸支社

2010年に、地域振興活動や環境活動などに積極的に石川県の発展に協力する「**石川のあした応援宣言**」を発表

- (1) 地域と連携推進、各種事業への協力、参加を推進いたします。
- (2) 県産食材の地産地消・県外へアピールできる取組を実施いたします。
- (3) 石川県の**里山・里海を守る活動を応援**いたします。

石川県知事 谷本正義様
『石川のあした』応援宣言

アサヒビールグループは、本県の計画に賛同し、企業連携を実現していくために、周囲の皆様が安心して暮らしていける社会に、貢献するため、地元の資源を活用して、地元の活性化に貢献するため、様々な行動を展開してまいります。また、地元の資源を活用するとして、社会に貢献一歩踏みとなることを目指しています。これまで行ってきた様々なチャレンジ活動、リサイクルや環境活動など、既に多くの実績がある一方で、今後も、より多くの方々に、アサヒビールの活動にご理解いただき、今後とも企業活動についても、この精神に沿って行動してもらいます。

私たちは、これまで受け継がれてきている社会貢献への精神の下、田川酒造会場の自然を守り、そしてここに住む人々が、酒を嗜むと幸せになれるよう、絶景空間利用の取り組みを実施します。また、田川酒造会場では、新たな活動項目を以下の通り実施。そして、一人ひとりが自分で考え自分で行動し、石川県の良さを広め、より地域活性化に努めることに貢献いたします。

(1) 地域との連携推進、各種事業への協力、参加を推進いたします
(2) 県産食材の地産地消・県外へアピールできる取り組みを実施いたします
(3) 石川県の里山・里海を守る活動を応援いたします

平成22年 6月10日
宣言者 アサヒビール株式会社
代表取締役社長 谷本 正義

石川のあした応援宣言の取り組み 里山・里海の保全

里海体験親子バスツアーの開催

実施日：2010年11月14日 参加者：20組40名

コース：七尾市能登島周辺【定置網や刺し網の網上げ体験、獲れた魚を調理体験、イルカウォッチング】



2011年 世界農業遺産の認定を機に、「能登の里山里海」の理解を深めてもらうため、能登の里山里海の**魅力を体験し学ぶためのスタディバスツアーとして実施**

世界農業遺産スタディバスツアーの概要①

ツアーオの概要

- ◆ 年度内2回開催
- ◆ 金沢駅発着
- ◆ 企業からの記念品贈呈
- ◆ 募集：ペア15組30名
- ◆ 参加費：4,000円～4,500円
- ◆ 有識者の同行（車内で講座）

アサヒビールとの打ち合わせ

- ◆ スタディツアーの開催にむけ、毎回、アサヒビール担当者とミーティングを開催
- ツアーオのテーマ : 旬の話題や過去に実施したことがないテーマなど
- 開催時期 : 天候やその時にしか体験できることなどを考慮
- 行先や体験メニュー : 旬の話題性やこれまでに行ったことのない場所
- ロケハンを実施 : 実際に現地へ行き、詳細の確認や移動線の確認
- チラシの作成など : 告知用のチラシを作成

世界農業遺産スタディバスツアーの概要②

テーマ：穴水の逸品に出会う旅【市町限定】

R4年11月19日

8:30	JR金沢駅・金沢港口(西口) ※受付は8:10より
10:30	1 ○能登中居鑄物館
11:10	2 ○ボラ待ちやぐらと 潮騒の道 散策
12:15	昼食 ○かあさんの学校食堂
13:35	3 ○新谷工芸 草木染め体験
15:20	4 ○能登ワイン ワイナリー見学
18:40	JR金沢駅・金沢港口(西口) 到着・解散

1 知られざる中居鑄物の歴史 ガイド付き

古くは平安時代に遡る中居鑄物の歴史。珠洲の塩づくりとの繋がりや北前船との関係を学ぶとともに、伝統技術を守る大切さを学びます。



能登中居鑄物館

2 ボラ待ちやぐらと潮騒の道 散策 ガイド付き

江戸時代から続く「ボラ待ちやぐら」での伝統的な漁法。魚の大群を探し、水面を見つめた漁師に思いを馳せながら、「潮騒の道」を歩きませんか。



○穴水町観光交流課

昼食

地元食材がたくさん!
かあさんの学校食堂



○かあさん学校食堂

3 能登に育つ植物で草木染め体験

新谷工芸



植物の根や茎、実などを使い繊維を染める草木染。草木染に使われる身近な植物について学ぶとともに、藍染体験を楽しみます。

※汚れても良い服装にてご参加ください。

4 能登の「こだわり」ワイナリー見学 ガイド付き

能登ワイン



○能登ワイン

元気な「かあさん」たちが“愛情”と“やさしさ”をたくさん注いで作った心温まるお昼ご飯。使われた地元食材を学びながら、お腹一杯お楽しみください。

世界農業遺産スタディバスツアーの概要③

テーマ：能登の海藻を“見る” “食べる” “学ぶ”

R5年7月2日

ツアースケジュール

7:20 出発 JR金沢駅・金沢港口(西口) ※受付は7:00より	1 10:20 ◎のと海洋ふれあいセンター	2 12:30 昼食 ◎ホテルのとkinpura	3 13:30 ◎九十九湾観光船 上野 (九十九湾めぐり約50分)	4 16:15 ◎昆布・海産物處 しら井	19:00 解散 JR金沢駅・金沢港口(西口)
---	--------------------------	-----------------------------	---	-------------------------	----------------------------



1 九十九湾遊歩道と磯観察 (のと海洋ふれあいセンター)

透明度が高い九十九湾。磯の観察路を散策し、能登の海藻を“見る”、採って“食べる”を楽しみます。
※荒天時は海藻を用いてキーホルダ制作をします。

学びのポイント

専門家から、海藻と、それがはぐくむ里海の生物多様性について学びます。



2 “イカす”お昼ご飯で大満足 (ホテルのとkinpura)

能登の里海からのめぐみ、獲れたての海の幸と海藻を“食べる”!を楽しみます。

学びのポイント

能登の美味しい海藻の特徴や食べ方を学びます。



3 船で海域公園をお散歩♪ (九十九湾観光船 上野)

遊覧船に乗って、能登の海藻を“見る”!
海藻が育む魚とのふれあいも楽しみます。

学びのポイント

九十九湾は日本最北限のものを含む100種類以上の海藻が繁殖するほか、多様な生き物が生息しています。
能登の里山里海の生物多様性を実際に見て学びます。



4 能登の海藻で万華鏡づくり (昆布・海産物處 しら井)

能登の海藻がつくる美しい模様を“見る”ことができる海藻万華鏡づくりを楽しむとともに、能登の様々な海藻の加工品も購入できます。

学びのポイント

子供たちに食べてもらえる“海藻加工品”的商品開発と能登の「海の森」の大切さを学びます。



世界農業遺産スタディバスツアーの概要④

テーマ：学んで応援、能登の里山里海！

R6年9月28日

ツアースケジュール



8:00 出発

JR金沢駅
金沢港口(西口)

① 9:10

○ 妙成寺

② 10:40

能登風土/能登千里浜
レストハウス(昼食)

③ 12:40

○ のと里山里海
ミュージアム

④ 13:50

○ 一本杉通り
商店街

⑤ 15:30

○ のと鉄道
七尾駅～穴水駅

19:10 解散

JR金沢駅
金沢港口(西口)

※定元の悪い道路や段差・階段がございます。歩くことに不安のある方はご遠慮ください。



©金榮山妙成寺

1 妙成寺 ~行って応援~

3つのお堂が横一線に並んだ寺院配置が見られるのは、全国でも妙成寺だけ。現存する数々の建造物の中でも、書院造と庭園の美しさには定評があり、特に五重塔は、海風に耐える頑丈なつくり。震災を乗り越えて国宝を目指す、北陸唯一の威容を誇る重要文化財を“行って応援”します。



2 能登風土/ 能登千里浜レストハウス ~食べて応援~

地震で大きな打撃を受けた水産業。復興に向けた取組と自然豊かな能登の里海を学ぶとともに、“食べて応援”します。

献立

名物貝めし・海鮮焼き(エビ・サザエ・ハマグリ・フグの一夜干し)・季節の小鉢・吸い物・香の物

*仕入状況により食材が変更になる場合がございます。



©石川県観光連盟

4 一本杉通り 商店街 ~買って応援~

かつて北前船の寄港地として栄え、600年もの歴史がある「一本杉通り」。震災では大きな被害を受けましたが、復興に向けて様々な取組をされています。歴史を学ぶとともに、特色あるお店を巡り、“買って応援”します。



©のと鉄道株式会社

5 のと鉄道 ~乗って応援~

能登半島・七尾湾側の海沿いを走るローカル線「のと鉄道」。沿線の豊かな自然とともに復興へ向かう能登の「いま」をガイドの方から学びます。車窓の里山里海の風景に心を通わせ“乗って応援”します。



©のと里山里海ミュージアム

3 のと里山里海 ミュージアム ~学んで応援~

能登の豊かな自然と歴史、文化を学ぶとともに、地震をきっかけに発見された歴史資料や美術品の企画展から文化財保全の取組を“学んで応援”します。

世界農業遺産スタディバスツアーの概要⑤

テーマ：能登の応援【行って応援・食べて応援・学んで応援・買って応援】

R7年3月15日

ツアースケジュール	
7:15	JR金沢駅西口 出発 ※7:00受付開始
9:30	1 ○ 總持寺祖院と ○ 總持寺通り商店街
12:40	2 昼食 芽吹
13:45	3 ○ 輪島工房長屋
15:30	4 ○ 出張輪島朝市
18:30	JR金沢駅西口 解散

1 總持寺祖院と總持寺通り商店街

ツアーガイド付き

長年にわたり親しまれている「本山（ほんざん）さん」。大祖堂など16棟が重要文化財に指定され、門前や能登の希望の光となっています。商店街では仮設店舗もOPENし、再スタートをきりました！“**行って応援、買って応援**”します。



©大本山總持寺祖院

2 mebuki -芽吹-

昼食

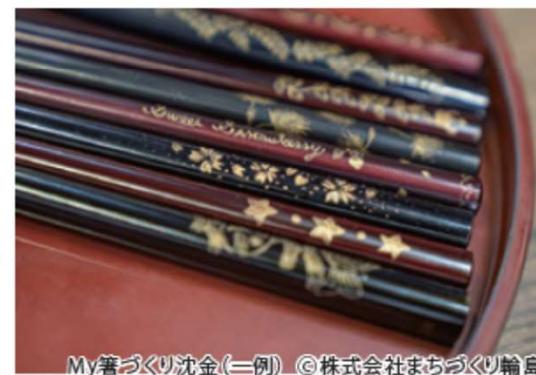
震災の炊き出しをきっかけに生まれた絆から、地元の料理人達が腕を振るう「芽吹」。復興の歩みに合わせ、輪島の街に灯りが広がるよう、“**食べて応援**”します。



©芽吹

3 輪島工房長屋と沈金体験

職人から職人へのバトンがつなぐ形で作り上げられる「輪島塗」。職人から100を超える製造工程を、“**学んで応援**”するとともに、実際に沈金体験にチャレンジ！輪島塗を“**楽しんで応援**”します。



My箸づくり沈金(二例) ©株式会社まちづくり輪島

4 出張輪島朝市

オレンジ色のテントに「こうてくだー（買って頂戴）」のかけ声。多くの場所でのたくさんの出会いが再開を応援し続けています。輪島の笑顔に会いに行き、“**買って応援**”します。



©出張輪島朝市

世界農業遺産スタディバスツアーについて

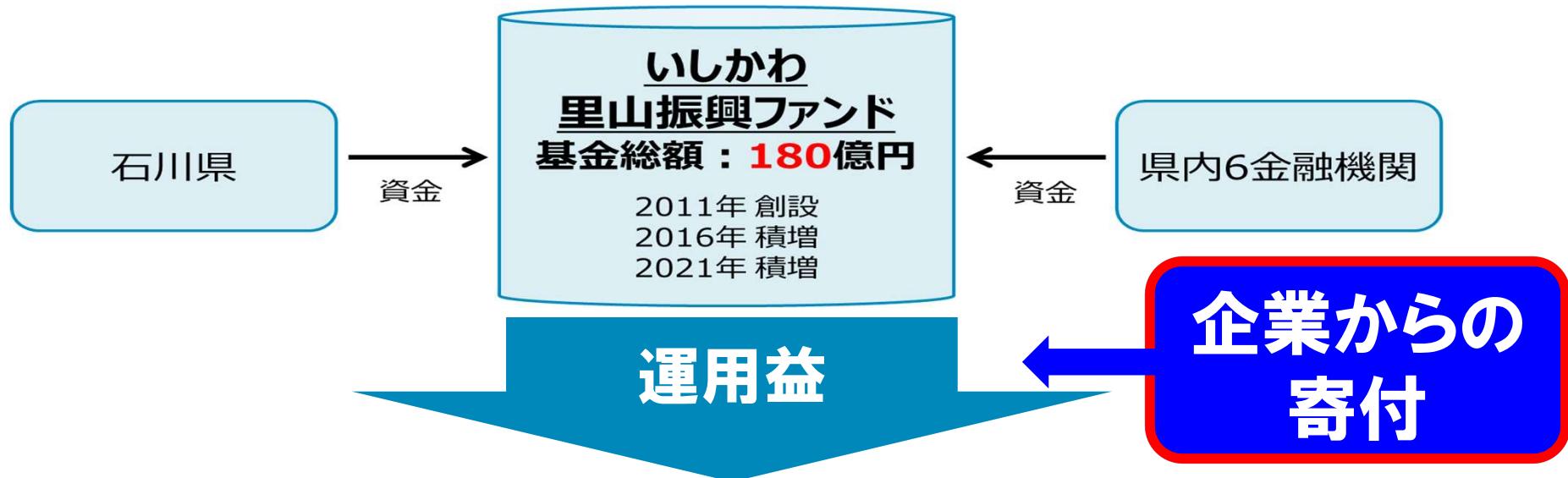


- ◆ 2011年から実施し、これまで、**28回のツアー、975名**の方が参加。**毎回、2倍以上の申込**がある
- ◆ 参加者アンケートでは、
 - **単なる見学ではなく、訪問先での話で見方が変わり、よかつた。**
 - **知らなかつた事をたくさん知ることができた。**
 - 自分が暮らしている**地域について見直すきっかけ**となつた。
- ◆ 里山里海の保全活動に取り組むことで、**石川県のみなさまにとって親しみやすく、愛される企業**を目指す
- ◆ バスでの移動中の車内で、**企業の取組を紹介**することで、**企業への理解**を深めることができる

企業との連携（その他）

◇ いしかわ里山振興ファンドへの寄付

いしかわ里山振興ファンドの仕組み



地域資源を活用した生業の創出やイベントの開催、
スローツーリズムの取組を支援

令和8年度のトキ放鳥場所が能登の「羽咋市南潟地区」に決定

- 令和7年7月16日能登地域トキ放鳥受入推進協議会において令和8年度上半期中のトキ放鳥場所が
「羽咋市南潟地区（邑知潟周辺）」に決定
- 県では引き続き、市町やJA等の関係機関と連携し、餌場確保の取り組み（トキの生息環境に配慮した米づくり）推進していきます



次期保全計画について

能登地域の現状

○災害から復旧・復興

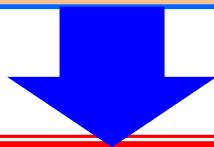
→里山里海の復旧・復興の取組と生物多様性への影響

○トキの放鳥（R8年度上半期）

→トキの生息環境整備の取組

○企業との連携

→企業と連携した里山里海の保全活動の取組



次期保全計画に盛り込み、能登の里山里海を守る！

ご清聴ありがとうございました



白米千枚田（あぜのきらめき）

